

工事はどのようなように進めていくのですか？

西・中央・東スタンドのうち、これまでに西・中央スタンドの解体工事を終え、現在新スタンドの建設が進んでいます。同時に、ボートタワーとつながる中央館の改修を行っています。来年の2月ごろには建物は完成し、4月下旬に新スタンドのオープンを予定しています。

その後、東スタンドの解体に取りかかり、跡地に立体駐車場や庭園広場風のイーストガーデンを整備し、平成27年3月末には全ての工事が完了する予定です。



昭和39年12月の様子

費用はどのくらいかかるのですか？

施設改善は、総額約91億円の予算で工事に着手しました。この財源は、ファンの方々からの売上の収益金の一部を積み立てた「競艇施設整備事業基金」から約61億円と、「ボートレース振興会」からの借入金30億円です。借入金は、今後の売上金の中から返済していきます。一般家庭の家計で言うところ、月々積み立てた貯金とローンで家を建て替えるのと同じです。施設改善事業に市税を使うということはありません。

収益金は積み立て以外にはどう使われているのですか？

収益金はボートレース蒲郡の運営や積み立てのほかに、市他の事業へ繰り出しをしています。今年度の収益金は、土地区画整理事業に2億1千万円、下水道事業に5億5千万円、病院事業に12億4千万円の合計20億円を繰り出す予定です。

ここ数年、病院事業に財政支援をする割合が高くなっています。病院事業は全国的に医師の確保が難しく、かつ自治体の財政難も加わり、大変厳しい経営状況にあります。蒲郡市も例外ではなく、病院事業を維持し、市民が安心して暮らせるために、平成19年度から平成24年度までの6年間で96億5千万円を繰り出しています。これまでボートレース蒲郡が誕生して以来、他の事業への繰出金の総額は千801億円になります。

競艇事業からの繰出金

会計	繰出金額
一般会計	616.8億円
土地区画整理事業	253.6億円
公共用地対策事業	103.3億円
下水道事業	464.6億円
水道事業	44.9億円
病院事業	317.8億円
計	1,801.0億円

※金額は、昭和30年度から平成24年度までの合計

改善工事完成予想図

